

# 平成30年度 四国防災トップセミナー開催

## テーマ:平成30年7月豪雨における被災自治体の経験から学ぶ

目的: 四国内の市町村長と四国南海トラフ巨大地震対策戦略会議メンバーが一堂に会し、防災に関する講演の拝聴や意見交換等を通じて、見識を深め、地域防災力の向上を目指す。  
(平成12年度から開催しており、今回が19回目の開催)

- 日時: 平成31年1月30日(水) 14:30~17:15
- 場所: 四国地方整備局 災害対策室(高松サンポート合同庁舎13階)
- 出席者: 四国内90市町村(内、首長63名、代理27名 首長出席率(63/95) 66%)  
四国南海トラフ巨大地震対策戦略会議メンバー(37機関)等  
合計 約 300名
- 報道状況: 四国新聞(平成31年1月31日 朝刊)

### ■基調講演

#### ◆基調講演【1部】

『がんばろう! 宇和島~平成30年7月豪雨災害から学んだこと~』

愛媛県 宇和島市長 岡原 文彰 氏

- ・現地からの第一報が「死者・行方不明者」で始まり、以降大混乱となった
- ・被災経験と「災害時にトップがなすべきこと」から次の3点が最も重要
  - ①自助・共助は、やはり防災の一丁目一番地
  - ②情報の見える化
  - ③自治体職員が主役
- ・「FMがいや」開局や、スマホアプリなど宇和島市独自の取組紹介

#### ◆基調講演【2部】

『防災・減災を核とした街づくり~平成30年7月豪雨の経験から~』

高知県 宿毛市長 中平 富宏 氏

- ・3日間、大雨に関する警報が継続した末に発災
- ・早めの国及び県への職員派遣依頼や、垂直避難を促しながら避難所を同時開設するなど、災害対応できた点
- ・今回の経験を踏まえた宿毛市防災情報伝達システムの整備や、庁舎を高台移転するなどの「災害に強い街づくり」取組の紹介

#### ◆基調講演【3部】

『津波防災地域づくり法について』

国土交通省 大臣官房審議官 坂根 工博 氏

### ■意見交換会

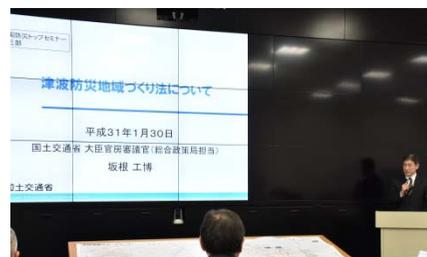
平成30年7月豪雨での経験を基に災害時のリーダーとしてなすべきことや、災害時における情報発信のあり方について意見交換をおこないました。



岡原 文彰 氏



中平 富宏 氏



坂根 工博 氏